

3-2 各部の納まり詳細図

鉄骨下地

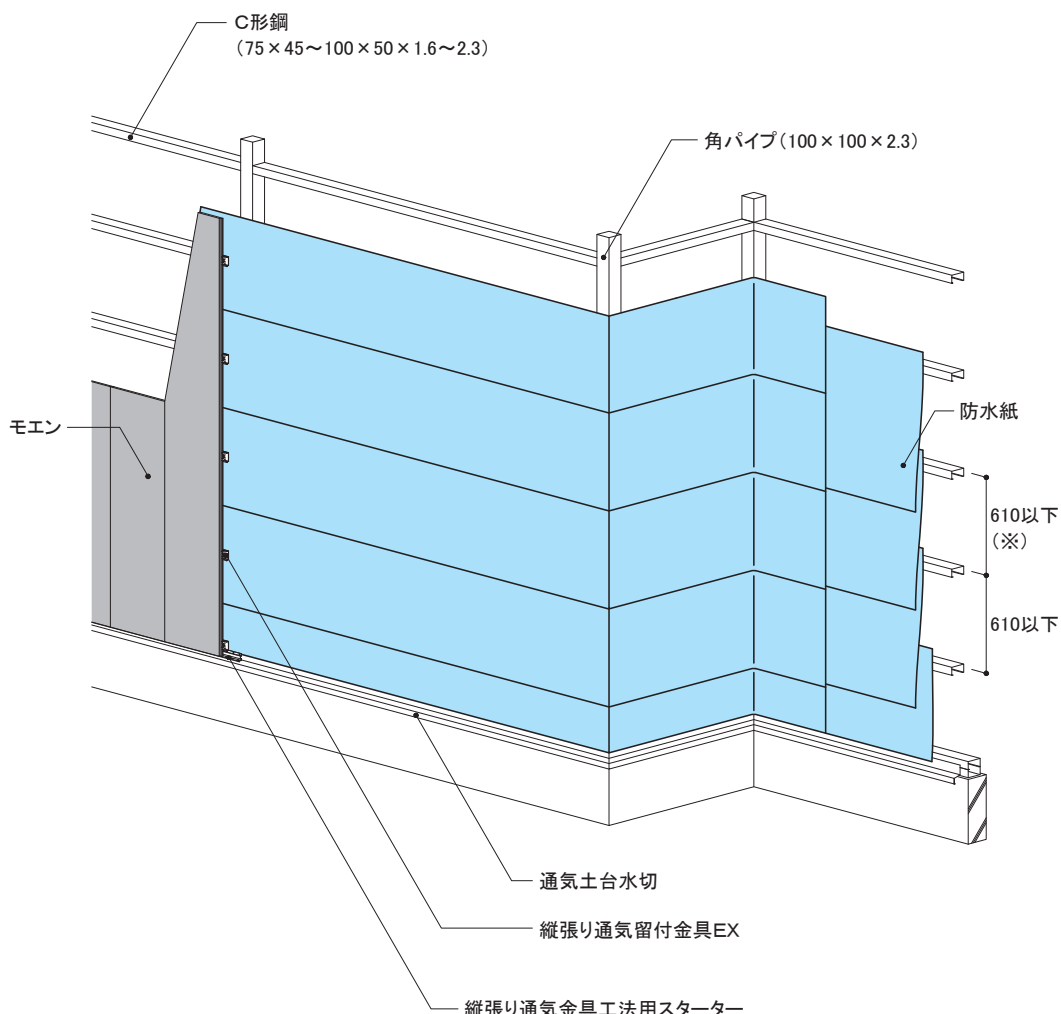
縦張り

通気金具施工

1) 基本構成図・下地組図

1. 5尺×10尺

- 通気土台水切は防水紙張りの前に取り付け、防水紙を上にかぶせて施工します。
 - C形鋼は75×45～100×50mm、厚み1.6～2.3mmを610mm以下の間隔で横に組みます。(※)
 - C形鋼を柱・梁などに直接溶接することは避けます。受けアングル(ねこ)を柱・梁に溶接し、C形鋼は受けアングルにボルト留めとします。
 - C形鋼は下向きに使用します。
 - 縦張り通気金具工法用スターターは専用ビスを使用し、250mm以下の間隔で留め付けます。
 - 土台部、出隅部、入隅部、上下接合部、開口部まわりなどは角パイプやC形鋼ダブルとするなど、金具が留め付けられるようにします。
 - モエン縦張り下端小口面および切断小口面は、モエンシーラーを十分塗布し乾燥後、切断小口が見える部分に専用補修液を、それ以外の部分はモエンシーラーを再度塗布します。
- ※1時間準耐火構造(QF060BE-9225)が必要な場合は@606mm以下となります。また、準耐火構造および防火構造で、鉛直荷重を負担する構造部材のC形鋼の厚みは2.3mmとします。



小口処理 モエン縦張り下端小口面および切断小口面は、モエンシーラーを十分塗布し乾燥後、切断小口面が見える部分については専用補修液を、それ以外の部分はモエンシーラーを塗布します。